



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月31日

上場会社名 株式会社カワタ 上場取引所 東
 コード番号 6292 URL <https://www.kawata.cc/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 白石 亙
 問合せ先責任者（役職名） 財務経理部長（氏名） 原田 恭子（TEL）06-6531-8211
 半期報告書提出予定日 2025年11月11日 配当支払開始予定日 2025年12月5日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	9,209	△7.1	381	33.2	369	27.8	127	△8.6
2025年3月期中間期	9,917	△19.9	286	△56.9	289	△62.5	139	△73.4

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 △108百万円(-%) 2025年3月期中間期 716百万円(△6.8%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	18.30	—
2025年3月期中間期	20.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	24,001	13,230	54.1
2025年3月期	25,304	13,480	52.2

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 12,976百万円 2025年3月期 13,216百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	20.50	—	20.50	41.00
2026年3月期	—	19.00			
2026年3月期(予想)			—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,600	△10.4	420	△57.3	410	△60.3	20	△96.5	2.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	7,210,000株	2025年3月期	7,210,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	224,366株	2025年3月期	228,967株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	6,983,068株	2025年3月期中間期	6,981,033株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3頁「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における世界経済は、米国の関税政策の不確実性や中国経済の減速等により不安定な状況が続き、景気の下振れリスクも懸念されております。

わが国経済も、日米関税交渉が一定の合意に達したものの、鉄鋼・アルミニウム関税の引き上げやエネルギー、原材料価格の高止まり等により市場環境は不透明感を増しております。また、設備投資の動向を知るうえで先行指標の一つである機械受注統計の推移を見ても、製造業の機械受注額は、2024年10月～12月は13,094億円(前年同期比7.0%増)、2025年1月～3月は12,977億円(同5.6%増)、2025年4月～6月は13,174億円(同4.1%増)、7月は4,283億円、8月は4,180億円と横ばい傾向で推移しており、米国関税政策による景気の下振れ懸念を背景に、設備投資に対する慎重姿勢が強まっているものと推測されます。

このような環境下、当社グループは、プラスチック成形関連のコアビジネスにおきまして、品質の向上、納期の確守、新製品の開発等、競争力強化によるマーケットシェアの拡大を図るとともに、電池、食品、化粧品、化学等の新規販売分野の開拓・拡大に注力してまいりました。

この結果、当中間期における受注高は、日本においてフィルム・シート関連や非プラスチック関連の受注は増加したものの、国内外の自動車業界向けを中心とした射出成形関連や電気自動車(EV)向けのリチウムイオン電池関連の受注が低調に推移したことから、前年同期比では1千8百万円減(同0.2%減)の94億6千4百万円となりました。これにより、受注残高については、前期末比では1億1千4百万円増加したものの、前年同期比では13億1千9百万円減(同14.0%減)の81億2千5百万円となりました。また、売上高につきましても、前年同期比7億7百万円減(同7.1%減)の92億9百万円となりました。

一方、損益面では、生産効率の向上による原価低減や諸経費の削減等により売上総利益率が改善(29.4%→31.0%)したこと及び販売費及び一般管理費の減少により、営業利益は前年同期比9千5百万円増(同33.2%増)の3億8千1百万円となりました。また、経常利益についても、前年同期比8千万円増(同27.8%増)の3億6千9百万円となりました。

特別損益では、固定資産売却益2百万円を特別利益に計上するとともに、固定資産除売却損10百万円を特別損失に計上し、法人税、住民税及び事業税2億5百万円、法人税等調整額2千5百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比1千2百万円減(同8.6%減)の1億2千7百万円となりました。

日本におきましては、フィルム・シート関連、医療向け等の非プラスチック関連の売上は増加したものの、電気自動車(EV)向けのリチウムイオン電池関連の売上や射出成形関連の売上が低調に推移したことから、売上高は前年同期比4億6千9百万円減(同6.9%減)の63億4千8百万円となりました。一方、損益面では、生産効率の向上による原価低減や諸経費の削減等により売上総利益率が改善(25.9%→29.5%)したこと及び販売費及び一般管理費の減少により、営業利益は前年同期比1億1千9百万円増(同26.8%増)の5億6千5百万円となりました。また、セグメント利益(経常利益)は前年同期比1億1百万円増(同20.4%増)の5億9千5百万円となりました。

東アジアにおきましては、中国における電気自動車(EV)向けのリチウムイオン電池関連の売上低迷に加え、スマホ・VR用レンズ関連の売上も低調であったことから、売上高は前年同期比4億1千5百万円減(同16.1%減)の21億7千万円となりました。損益面においても、利益率の高い案件が減少したことに伴い売上総利益率が悪化(30.3%→23.4%)し、諸経費の削減により販売費及び一般管理費は減少したものの、営業損失が2億1千6百万円(前年同期は8千3百万円の営業損失)となり、セグメント損失(経常損失)が2億1千2百万円(前年同期は5千2百万円の経常損失)となりました。

東南アジアにおきましては、自動車関連の売上は低調であったものの、OA機器関連等の売上が比較的堅調に推移し、売上高は前年同期比1千7百万円増(同1.8%増)の10億1千5百万円となりました。損益面では、売上総利益率が改善(34.1%→34.6%)し、販売費及び一般管理費が減少したものの、3百万円の営業損失(前年同期は1千9百万円の営業損失)となり、セグメント損失(経常損失)は6百万円(前年同期は2千1百万円の経常損失)となりました。

北中米におきましては、前期に引き続き自動車関連を中心に受注は堅調に推移し、売上高についても前年度の受注増により、前年同期比1億7千万円増(同124.7%増)の3億6百万円となりました。損益面でも、売上総利益率は悪化(41.8%→37.5%)したものの、売上高の増加と販売費及び一般管理費の減少により、営業利益は1千1百万円(前年同期は5千2百万円の営業損失)となりましたが、為替差損の計上等によりセグメント損失(経常損失)は4百万円(前年同期は5千1百万円の経常損失)となりました。

なお、報告セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、受取手形、売掛金及び契約資産、商品及び製品が減少したこと等により11億7千6百万円減少し、173億4千8百万円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べて、建物及び構築物が減少したこと等により1億2千6百万円減少し、66億5千3百万円となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて13億3百万円減少し、240億1百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、支払手形及び買掛金、短期借入金、役員賞与引当金が減少したこと等により8億7千4百万円減少し、66億8百万円となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べて、長期借入金が増加したこと等により1億7千8百万円増加し、41億6千2百万円となりました。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて10億5千3百万円増加し、107億7千万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて、為替換算調整勘定が減少したこと等により2億4千9百万円減少し、132億3千万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、米国の関税政策による景気の下振れが懸念されるなか、先行きを見通せない状況が続くものと予想されます。わが国経済も、米国の関税政策による影響や中国の景気後退等により、市場環境については不安定な状態が続くものと予想されます。

かかる環境下、当社グループにおきましては、当下半期において、中国の生産子会社において事業体制の再構築に伴う損失の計上が予想されることから、2025年10月31日に業績予想の修正を行っております。(詳細は2025年10月31日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。)

なお、当社グループは、引き続き自動車関連業界における自動車の電動化、自動運転化、車体の軽量化、一体成形化(ギガキャスト)等の動きや、社会の変化に伴うタブレット、PC、スマホ、VR等の通信機器拡大、AI、IoT、5G等のデジタル化推進の動きへの確に対応していくとともに、既存市場、既存分野での販売拡大と収益力向上等を中期的に取り組んでまいります。また、非プラスチック関連や次世代電池関連等の新規事業分野の開拓・拡大にも注力してまいります。

地球レベルでの環境問題(脱炭素、使い捨てプラスチックの削減)に対しては、お客様の生産現場や自社の事業活動及びお客様の製造物を通じて社会に貢献し、透明性の高い企業統治(コーポレートガバナンス)等を実現していくことで経営基盤の強化とESG経営を推進いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,866,390	6,806,721
受取手形、売掛金及び契約資産	7,665,787	6,782,491
商品及び製品	763,244	639,170
仕掛品	867,461	938,066
原材料及び貯蔵品	1,975,576	1,868,569
その他	438,376	379,313
貸倒引当金	△51,920	△66,320
流動資産合計	18,524,916	17,348,012
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,110,985	2,963,542
土地	1,658,801	1,645,627
その他(純額)	573,570	506,363
有形固定資産合計	5,343,357	5,115,533
無形固定資産		
その他	649,732	685,091
無形固定資産合計	649,732	685,091
投資その他の資産		
その他	787,555	854,195
貸倒引当金	△1,194	△1,676
投資その他の資産合計	786,361	852,518
固定資産合計	6,779,450	6,653,144
資産合計	25,304,366	24,001,157
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,114,691	1,759,217
短期借入金	3,004,056	2,692,556
未払法人税等	242,569	213,260
製品保証引当金	97,971	73,218
役員賞与引当金	44,956	-
その他	1,978,546	1,869,763
流動負債合計	7,482,790	6,608,016
固定負債		
長期借入金	3,006,240	2,845,912
役員株式給付引当金	39,840	35,890
退職給付に係る負債	1,126,877	1,089,783
その他	168,502	191,100
固定負債合計	4,341,460	4,162,685
負債合計	11,824,251	10,770,701

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	977,142	977,142
資本剰余金	1,069,391	1,069,391
利益剰余金	9,737,454	9,720,072
自己株式	△129,500	△125,580
株主資本合計	11,654,488	11,641,025
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	232,433	308,020
為替換算調整勘定	1,329,652	1,027,291
その他の包括利益累計額合計	1,562,086	1,335,311
非支配株主持分	263,541	254,118
純資産合計	13,480,115	13,230,455
負債純資産合計	25,304,366	24,001,157

(2) 中間連結損益及び包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	9,917,200	9,209,409
売上原価	7,000,213	6,351,709
売上総利益	2,916,986	2,857,699
販売費及び一般管理費	2,630,474	2,476,056
営業利益	286,511	381,642
営業外収益		
受取利息	9,792	12,069
受取配当金	9,218	11,605
為替差益	-	1,724
増値税還付金	34,610	3,635
その他	12,546	16,375
営業外収益合計	66,167	45,409
営業外費用		
支払利息	27,387	31,276
為替差損	21,897	-
その他	14,355	26,387
営業外費用合計	63,641	57,663
経常利益	289,038	369,388
特別利益		
固定資産売却益	22,183	2,320
特別利益合計	22,183	2,320
特別損失		
固定資産除売却損	6,906	10,013
会員権評価損	1,032	460
特別損失合計	7,939	10,473
税金等調整前中間純利益	303,282	361,235
法人税、住民税及び事業税	160,323	205,906
法人税等調整額	△586	25,201
法人税等合計	159,736	231,107
中間純利益	143,546	130,128
(内訳)		
親会社株主に帰属する中間純利益	139,861	127,792
非支配株主に帰属する中間純利益	3,685	2,335
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,955	75,586
為替換算調整勘定	588,772	△314,120
その他の包括利益合計	572,816	△238,533
中間包括利益	716,362	△108,405
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	699,345	△98,982
非支配株主に係る中間包括利益	17,017	△9,423

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	東アジア	東南アジア	北中米	合計	調整額 (注)	中間連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	6,496,268	2,301,327	992,527	127,077	9,917,200	—	9,917,200
セグメント間の内部 売上高又は振替高	321,502	284,742	5,269	9,492	621,006	△621,006	—
計	6,817,770	2,586,069	997,797	136,569	10,538,207	△621,006	9,917,200
セグメント利益又は 損失(△)	494,911	△52,119	△21,443	△51,671	369,676	△80,638	289,038

(注) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益及び包括利益計算書計上額(経常利益)との差額の主な内容は次のとおりであります。

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	369,676
セグメント間取引消去	△80,638
中間連結損益及び包括利益計算書の経常利益	289,038

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	東アジア	東南アジア	北中米	合計	調整額 (注)	中間連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	6,034,260	1,862,796	1,009,228	303,123	9,209,409	—	9,209,409
セグメント間の内部 売上高又は振替高	313,809	307,774	6,257	3,759	631,600	△631,600	—
計	6,348,069	2,170,571	1,015,485	306,882	9,841,009	△631,600	9,209,409
セグメント利益又は 損失(△)	595,952	△212,062	△6,264	△4,328	373,296	△3,908	369,388

(注) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益及び包括利益計算書計上額(経常利益)との差額の主な内容は次のとおりであります。

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	373,296
セグメント間取引消去	△3,908
中間連結損益及び包括利益計算書の経常利益	369,388

3. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当中間連結会計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。なお、北中米には生産拠点が存在しないため、記載しておりません。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
日本	5,686,933	△4.0
東アジア	1,900,925	△11.8
東南アジア	148,546	△34.4
合計	7,736,405	△6.9

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 金額は販売価格によっております。

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

当中間連結会計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
日本	6,296,638	3.8	5,903,222	△10.8
東アジア	1,928,997	△4.2	1,493,085	△23.6
東南アジア	960,932	△7.8	496,890	△7.8
北中米	277,523	△23.0	231,905	△30.0
合計	9,464,092	△0.2	8,125,104	△14.0

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当中間連結会計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
日本	6,034,260	△7.1
東アジア	1,862,796	△19.1
東南アジア	1,009,228	1.7
北中米	303,123	138.5
合計	9,209,409	△7.1

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。